

仕事と信仰

名古屋に来てから  
神様に使う時間増えた

ちょうど愛知万博が終  
わった頃の2005年

秋、石橋憲さんは名古屋に引越して来た。東京にいた頃は、教会まで時間がかかることが教会生活の課題だったため、引越して先は教会の近くと決めていた。自分が所属する日本バプテスト連盟の教会の青年会に重荷を持っていったこともあり、住む場所を中部地方のどの連盟の教会にも行きやすい場所を選んだ。連盟のすべての教会を回り、自分のことを知ってもらい、ある程度関係ができた時に「青年会を作りましょう」と呼びかけた。各教会の牧師、青年と信頼関係が出来ていたおかげで、すんなり認めてもらえ、また協力も得られたという。

株式会社グレイス・コーポレーション代表取締役  
グレイス・センター・センター長

石橋 憲さん(下)



グレイス・センター開所式で司会を務める石橋さん

一つの選び取りによって今がある

出席した。「東京の時は10、11時まで仕事をしてきた。名古屋では仕事も早くあがれるし、しかも住む場所が教会の近くだったので、祈禱会に出席できた。そのため、自分のことだけでなく教会のために祈ったり、教会生活を生かすようにになり、神様のために使う時

間が増えた。その結果、名古屋に来てから信仰がさらに豊かにされました」

自分の教会だけでなく、様々な教団教派の集まりにも参加するようになった。

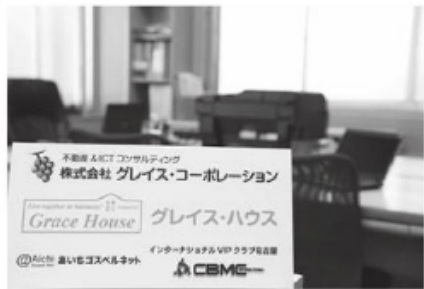
会社から大阪転勤の話が来た

そのような中、2011年3月に東日本大震災

が起こった。「社会的に弱い立場にいる方、生活苦のなかにいる方、障害者の方のために、力になりたいという思いが小さい頃からあった」という石橋さんは、ボランティア活動のため、キリスト教支援団体「日本国際飢餓対策機構(JIFD)」を通じて何度も東北に足を運んだ。

働きはとも用いられたいと石橋さん。しかし、働きをする中では限界が

「会社に雇われた者としての限界を感じた」と話す。「会社の人たちから『ちょっと休み過ぎだ』という視線を感じた。ボランティアはしているけれど、何か後ろめたさ、居心地の悪さがあった。会社によって守られ、教育を受け、成長してきたことは大きかったけれども、神様に仕える



3階フロアの入居団体

りは、どれだけ祈ったか分からないというほど、大の男が涙を流しながら祈りました」

すると、ある時「主に信頼し、善を行え。この地に住み着き、信仰を糧とせよ」(詩編37:3、新共同訳)

という御言葉が与えられた。「私はあんまり立っていたら、自分の中に『独立したい』という思いが生まれきました」

翌年、会社から「大阪に行ってもらえないか」という話があった。

「たぶん人生でいちばん大きな決断、悩みのときだった」と石橋さんは振り返る。「名古屋の地で、自分が神様に用いられているという思いがあった。しかし、新しい地に行くことも神様がまたそこで用いてくださるかもしれない。本当に結論が出なかった。この時ばかりは、どれだけ祈ったか分からないという思いがその時与えられたという。『本当に大きな決断でした。それは仕事(会社)の奴隷から、神様の奴隷となるという決断でもあった。それが本当にうれしかった」と語る。

その後、石橋さん自身が望んだわけでもないのに、愛知県にある教会や情報発信するポータルサイト「あいちゴスペルネット」や、クリスチャンシェアハウス「グレイス・ハウス」など、県内の超教派の働きにどんどん用いられるようになっていった。不動産ビジネスに関しても、キリスト教関係者からの相談が増えるなど、事業が守られていった。

「一つの選び取りによって今があるなど思いますが」と石橋さんは言う。確かに、もしあの時大阪に行く選択をしていたら、様々なキリスト教団体が居を構える名古屋の新拠点「グレイス・センター」はなかったに違いない。【中田 朗】

名古屋に留まることを御言葉で確信

「たぶん人生でいちばん大きな決断、悩みのときだった」と石橋さんは振り返る。「名古屋の地で、自分が神様に用いられているという思いがあった。しかし、新しい地に行くことも神様がまたそこで用いてくださるかもしれない。本当に結論が出なかった。この時ばかりは、どれだけ祈ったか分からないという思いがその時与えられたという。『本当に大きな決断でした。それは仕事(会社)の奴隷から、神様の奴隷となるという決断でもあった。それが本当にうれしかった」と語る。

その後、石橋さん自身が望んだわけでもないのに、愛知県にある教会や情報発信するポータルサイト「あいちゴスペルネット」や、クリスチャンシェアハウス「グレイス・ハウス」など、県内の超教派の働きにどんどん用いられるようになっていった。不動産ビジネスに関しても、キリスト教関係者からの相談が増えるなど、事業が守られていった。

「一つの選び取りによって今があるなど思いますが」と石橋さんは言う。確かに、もしあの時大阪に行く選択をしていたら、様々なキリスト教団体が居を構える名古屋の新拠点「グレイス・センター」はなかったに違いない。【中田 朗】